

学校教育目標	自主・創造・共生 ○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】				
	学校概要 創立 50 周年 児童生徒数: 728 人	学校長 小倉克彦	副校長 柴田耕治	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 4
主な関係校: 旭中学校					

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、自ら考え、行動する力</li> <li>・他を認め、協働して課題解決をする力</li> <li>・変化に対応し、創造する力</li> </ul>	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期取組目標 ○1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・特別支援の考え方をもとに、授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会で求められる資質・能力を子どもたちに育みます。
--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 教務	①授業に臨む子どもの安心感やコミュニケーション力について職員がこれまでの成果をもとに目指す姿を具体化した上で取組をすすめる。 ②話し合いによって学びが深まったり、人間関係が構築されたりするよう意識して授業づくりをする。 ③作成した年間計画をもとに子ども一人ひとりが地域の方、地域のもの、ことと十分にかかわるなど活動の充実を図る。
豊かな心 担当 B部会・D部会	①小中合同の行事、縦割り活動等の年間計画にもとづき実施する。職員や子ども・保護者が子どもの成長を実感、共有できるよう取組をすすめる。 ②授業研究を核に互いの存在や考えを認め合うことの大切さを実感できる授業をめざした取組をすすめる。
健やかな体 担当 C部会・体育部	①休み時間や帯の時間帯を設定し、運動に親しむ活動を継続的に設定する。 ②体力テストを活用し、子どもが体力向上にむけた意識をもち主体的に活動できるような授業づくりをする。 ③児童委員会活動の取組を生かし、体育的な活動を計画的に設定する。
特別支援教育 担当 特支コ	①昨年度のS・カリキュラムをもとに中沢小のS・カリキュラムを定着させる。その考え方や成果について共有し、全学年の指導に生かす。 ②特別支援コーディネーターを専門機関等を活用した適切なアセスメントをもとに個に応じた支援をすすめる組織的な体制・環境づくりをすすめる。 ③個別級、一般級児童の交流を全職員で目的を明確にした上で計画的にすすめる体制を確立する。
地域連携・学校運営協議会 担当 教務・D部会	①地域が、学校との交流は地域の活性化や課題解決つなぐと実感しながら積極的に交流に臨めるようにする。 ②新たに小中で設置する教科「地域防災科」のカリキュラムの作成と実施。 ③地域行事や、総合的な学習の時間、周年行事等を通して、地域や保護者が参画する取組をすすめる。
キャリア教育 担当 特活	①年間計画にもとづき、職員がねらいを意識しながら地域の方との交流をさらに広げ、充実させる取組をすすめる。 ②キャリアパスポートの作成・活用を通して、子どもたちが自身の姿と向き合い、成長に気づいたり、新たなめあてを意識し、主体的に生活できるよう取組をすすめる。
いじめへの対応 担当 A部会	①いじめが起こりづらいあたたかな風土づくりがすすんでいることを意識し、授業コンセプトの充実にもつなげた取組をすすめる。 ②児童支援専任教諭を中心に校内委員会や研修等を通して、いじめの発見や対応の精度を高める。また、学年を中心とした組織的な対応力を高める。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務	①主幹教諭を中心に学年主任会や教育課題解決部会を通して、教育活動が組織的、効果的に推進できるようにする。(組織力・育成・働き方) ②初任者を含めた経験が浅い職員のフォローや育成の体制をメンター研修や育成担当者の配置によって強化する。

